

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成22年5月27日(2010.5.27)

【公開番号】特開2009-100020(P2009-100020A)

【公開日】平成21年5月7日(2009.5.7)

【年通号数】公開・登録公報2009-018

【出願番号】特願2007-266629(P2007-266629)

【国際特許分類】

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

G 0 6 F 3/12 (2006.01)

G 0 3 G 21/04 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/00 C

G 0 6 F 3/12 K

G 0 3 G 21/00 3 9 0

【手続補正書】

【提出日】平成22年4月9日(2010.4.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

操作画面から使用者によって選択された情報を受け付ける受付手段と、

前記受付手段によって受け付けられた情報に対応する機能実行部品を検出する検出手段と、

操作画面及び該操作画面に含まれる各機能実行部品に割り付けられている機能に設定されたユーザ認証の要否に関する情報を記憶する記憶手段と、

前記記憶手段に記憶された前記ユーザ認証の要否に関する情報に基づいて前記機能実行部品に割り付けられている機能の実行に際しユーザ認証の要否を判断する判断手段と、

前記判断手段によりユーザ認証要と判断された機能実行部品がユーザにより選択された場合にユーザ認証処理を実行するユーザ認証処理手段と、

実行が許可されているユーザにより選択された機能実行部品に割り付けられている機能を実行する機能実行手段と、

を有し、

前記判断手段は、前記検出手段により検出された機能実行部品に割り付けられている機能、他の機能実行部品に割り付けられている該機能、該機能が割り付けられた機能実行部品を含む操作画面、の少なくとも 1 つにユーザ認証要と設定されている場合に、該機能の実行に際しユーザ認証要と判断することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

請求項 1 記載の情報処理装置において、

前記受付手段は、階層構造からなる複数の操作画面から使用者によって選択された情報を受け付け、

前記判断手段は、前記検出手段により検出された機能実行部品に割り付けられている機能、他の機能実行部品に割り付けられている該機能、該機能が割り付けられた機能実行部品を含む操作画面及び該操作画面から上位層に位置する操作画面、の少なくとも 1 つにユーザ認証要と設定されている場合に、該機能の実行に際しユーザ認証要と判断することを特

徴とする情報処理装置。

【請求項 3】

請求項 2 記載の情報処理装置において、

前記判断手段は、前記検出手段により検出された機能実行部品に割り付けられている機能が複数の基本機能の組合せにより生成された合成機能である場合、該基本機能それぞれに対してユーザ認証の可否を判断し、該基本機能のうち少なくとも 1 つが認証要である場合には該合成機能はユーザ認証要と判断することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 4】

請求項 1 又は 2 に記載の情報処理装置において、

前記判断手段は、前記検出手段により機能実行部品が検出された時点で、該機能実行部品に割り付けられている機能の実行に際しユーザ認証の可否の判断することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 5】

請求項 4 記載の情報処理装置において、

前記判断手段は、ユーザ認証要と判断した機能を認証要機能として設定することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 6】

請求項 5 記載の情報処理装置において、

前記判断手段は、前記ユーザ認証処理手段によりユーザ認証された機能が割り付けられた機能実行部品が当該ユーザによって再度選択された場合には、ユーザ認証不要と判断することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 7】

請求項 2 記載の情報処理装置において、

操作画面のカスタマイズを実行するカスタマイズ手段と、

カスタマイズにより操作画面に含めた機能実行部品に割り付けられている機能に対するユーザ認証の可否が、他の機能実行部品に割り付けられている該機能、該機能が割り付けられた機能実行部品を含む操作画面または該操作画面から上位層に位置する操作画面、のいずれかに設定されているユーザ認証の可否と異なると前記判断手段により判断された場合、その異なる旨を示す警告情報を当該ユーザへ通知する通知手段と、

を有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 8】

請求項 2 記載の情報処理装置において、

操作画面のカスタマイズを実行するカスタマイズ手段と、

カスタマイズにより操作画面に含めようとする機能実行部品に割り付けられている機能に対するユーザ認証の可否が、他の機能実行部品に割り付けられている該機能、該機能が割り付けられた機能実行部品を含む操作画面、または該操作画面から上位層に位置する操作画面、のいずれかに設定されているユーザ認証の可否と異なると前記判断手段により判断された場合、そのカスタマイズを禁止する禁止手段と、

を有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 9】

コンピュータを、

操作画面から使用者によって選択された情報を受け付ける受付手段、

前記受付手段によって受け付けられた情報に対応する機能実行部品を検出する検出手段

、

操作画面及び該操作画面に含まれる各機能実行部品に割り付けられている機能に設定されたユーザ認証の可否に関する情報を記憶する記憶手段、

前記記憶手段に記憶された前記ユーザ認証の可否に関する情報に基づいて前記機能実行部品に割り付けられている機能の実行に際しユーザ認証の可否を判断する判断手段、

前記判断手段によりユーザ認証要と判断された機能実行部品がユーザにより選択された場合にユーザ認証処理を実行するユーザ認証処理手段、

実行が許可されているユーザにより選択された機能実行部品に割り付けられている機能を実行する機能実行手段、

として機能させ、

前記判断手段は、前記検出手段により検出された機能実行部品に割り付けられている機能、他の機能実行部品に割り付けられている該機能、該機能が割り付けられた機能実行部品を含む操作画面、の少なくとも1つにユーザ認証要と設定されている場合に、該機能の実行に際しユーザ認証要と判断することを特徴とする情報処理プログラム。

【請求項10】

操作画面から使用者によって選択された情報を受け付ける受付手段と、

前記受付手段によって受け付けられた情報に対応する機能実行部品を検出する検出手段と、

操作画面及び該操作画面に含まれる各機能実行部品に割り付けられている機能に設定されたユーザ認証の可否に関する情報を記憶する記憶手段と、

前記記憶手段に記憶された前記ユーザ認証の可否に関する情報に基づいて前記機能実行部品に割り付けられている機能の実行に際しユーザ認証の可否を判断する判断手段と、

前記判断手段によりユーザ認証要と判断された機能実行部品がユーザにより選択された場合にユーザ認証処理を実行するユーザ認証処理手段と、

実行が許可されているユーザにより選択された機能実行部品に割り付けられている機能を実行する機能実行手段と、

を有し、

前記判断手段は、前記検出手段により検出された機能実行部品に割り付けられている機能、他の機能実行部品に割り付けられている該機能、該機能が割り付けられた機能実行部品を含む操作画面、の少なくとも1つにユーザ認証要と設定されている場合に、該機能の実行に際しユーザ認証要と判断することを特徴とする情報処理システム。

【請求項11】

操作画面から使用者によって選択された情報を受け付ける受付手段と、

前記受付手段によって受け付けた情報に対応する機能実行部品を検出する検出手段と、

操作画面及び該操作画面に含まれる各機能実行部品に割り付けられている機能に設定されたユーザ認証の可否に関する情報を記憶する記憶手段と、

前記記憶手段に記憶された前記ユーザ認証の可否に関する情報に基づいて、前記検出手段により検出した機能実行部品に割り付けられている機能の実行に際しユーザ認証の可否を判断する判断手段と、

前記判断手段によりユーザ認証要と判断された機能実行部品がユーザにより選択された場合に当該機能実行部品に割り付けられている機能の実行前に認証画面を前記操作画面に表示し、ユーザ認証を要求する要求手段と、

前記要求手段により要求したユーザ認証処理を実行するユーザ認証処理手段と、

前記ユーザ認証処理手段により実行したユーザ認証が成功した後に使用者により選択された機能実行部品に割り付けられている機能を実行する機能実行手段と、

を有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項12】

操作画面から使用者によって選択された情報を受け付ける受付手段と、

前記受付手段によって受け付けた情報に対応する機能実行部品を検出する検出手段と、

操作画面及び該操作画面に含まれる各機能実行部品に割り付けられている機能に設定されたユーザ認証の可否に関する情報を記憶する記憶手段と、

前記記憶手段に記憶された前記ユーザ認証の可否に関する情報に基づいて、前記検出手段により検出した機能実行部品に割り付けられている機能の実行に際しユーザ認証の可否を判断する判断手段と、

前記判断手段によりユーザ認証要と判断された機能実行部品がユーザにより選択された場合に当該機能実行部品に割り付けられている機能の実行前に認証画面を前記操作画面に表示し、ユーザの識別情報を要求する要求手段と、

前記要求手段により要求したユーザの識別情報からユーザ認証処理を実行するユーザ認証処理手段と、

前記ユーザ認証処理手段により実行したユーザ認証が成功した後に使用者により選択された機能実行部品に割り付けられている機能を実行する機能実行手段と、

を有することを特徴とする情報処理装置。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１８】

本発明に係る情報処理システムは、操作画面から使用者によって選択された情報を受け付ける受付手段と、前記受付手段によって受け付けられた情報に対応する機能実行部品を検出する検出手段と、操作画面及び該操作画面に含まれる各機能実行部品に割り付けられている機能に設定されたユーザ認証の要否に関する情報を記憶する記憶手段と、前記記憶手段に記憶された前記ユーザ認証の要否に関する情報に基づいて前記機能実行部品に割り付けられている機能の実行に際しユーザ認証の要否を判断する判断手段と、前記判断手段によりユーザ認証要と判断された機能実行部品がユーザにより選択された場合にユーザ認証処理を実行するユーザ認証処理手段と、実行が許可されているユーザにより選択された機能実行部品に割り付けられている機能を実行する機能実行手段と、を有し、前記判断手段は、前記検出手段により検出された機能実行部品に割り付けられている機能、他の機能実行部品に割り付けられている該機能、該機能が割り付けられた機能実行部品を含む操作画面、の少なくとも１つにユーザ認証要と設定されている場合に、該機能の実行に際しユーザ認証要と判断することを特徴とする。

本発明に係る情報処理装置は、操作画面から使用者によって選択された情報を受け付ける受付手段と、前記受付手段によって受け付けた情報に対応する機能実行部品を検出する検出手段と、操作画面及び該操作画面に含まれる各機能実行部品に割り付けられている機能に設定されたユーザ認証の要否に関する情報を記憶する記憶手段と、前記記憶手段に記憶された前記ユーザ認証の要否に関する情報に基づいて、前記検出手段により検出した機能実行部品に割り付けられている機能の実行に際しユーザ認証の要否を判断する判断手段と、前記判断手段によりユーザ認証要と判断された機能実行部品がユーザにより選択された場合に当該機能実行部品に割り付けられている機能の実行前に認証画面を前記操作画面に表示し、ユーザ認証を要求する要求手段と、前記要求手段により要求したユーザ認証処理を実行するユーザ認証処理手段と、前記ユーザ認証処理手段により実行したユーザ認証が成功した後に使用者により選択された機能実行部品に割り付けられている機能を実行する機能実行手段と、を有することを特徴とする。

本発明に係る情報処理装置は、操作画面から使用者によって選択された情報を受け付ける受付手段と、前記受付手段によって受け付けた情報に対応する機能実行部品を検出する検出手段と、操作画面及び該操作画面に含まれる各機能実行部品に割り付けられている機能に設定されたユーザ認証の要否に関する情報を記憶する記憶手段と、前記記憶手段に記憶された前記ユーザ認証の要否に関する情報に基づいて、前記検出手段により検出した機能実行部品に割り付けられている機能の実行に際しユーザ認証の要否を判断する判断手段と、前記判断手段によりユーザ認証要と判断された機能実行部品がユーザにより選択された場合に当該機能実行部品に割り付けられている機能の実行前に認証画面を前記操作画面に表示し、ユーザの識別情報を要求する要求手段と、前記要求手段により要求したユーザの識別情報からユーザ認証処理を実行するユーザ認証処理手段と、前記ユーザ認証処理手段により実行したユーザ認証が成功した後に使用者により選択された機能実行部品に割り付けられている機能を実行する機能実行手段と、を有することを特徴とする。